

2019年3月 神奈川大学卒業生調査の実施結果について

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

本学では2019年3月に卒業生調査を実施し、2019年3月卒業生3,638名のうち21.9%にあたる797名（うち有効回答794名）から回答をいただきました。

多忙な時期にも関わらず多くの卒業生にご協力いただいたことに感謝するとともに、調査結果につきまして、抜粋してご報告いたします。

ご意見については、学内で共有し、確実に改善に活かしていきます。



Q 以下の項目は、大学生活を通じてどの程度身についたと思いますか。



「大学で身についた」上位5項目

第1位 組織や社会のルールを守れる（40.1%）

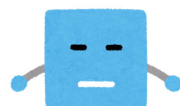
第2位 お互いの意見を尊重できる（37.9%）

第3位 人間関係を築き、協働できる（36.5%）

第4位 知識や情報をもとに、自分の考えや意見をもつことができる
（35.0%）

第5位 大学で学んだ専門領域に関する知識がある（33.9%）

Q 以下の項目は、大学生活を通じてどの程度身についたと思いますか。



「大学で身についた」下位5項目

第1位 日本語以外の言語を使って書いたり、会話したりできる（11.6%）

第2位 ボランティア活動や地域活動に協力している（12.3%）

第3位 情報通信技術（ICT）を運用できる（14.1%）

第4位 国際的な諸問題に対する関心がある（19.1%）

第4位 知識や技能を応用し、提案・企画ができる（19.1%）

Q 本学に対する現在の評価（満足度）として、あてはまるものを選んでください。



「満足している」上位5項目

第1位 図書館など自主学習用の施設や環境が充実（41.6%）

第2位 学内ネットワーク設備やコンピュータの施設・設備が充実（37.2%）

第3位 学生生活が楽しめる（33.2%）

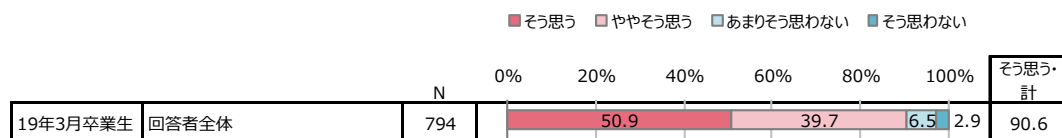
第4位 学食などの飲食施設が充実している（33.0%）

第5位 学びたい学問が学べる（28.2%）

※「満足している」のみの回答率。「やや満足している」は含まない。

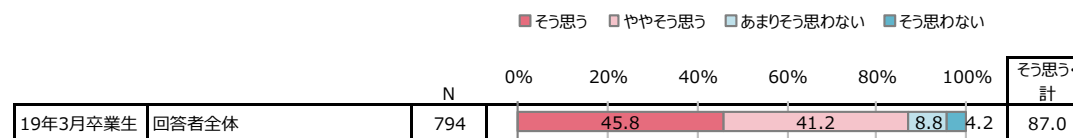
Q 本学に対する現在の気持ちとして、あてはまるものを選んでください。

(1) 本学を卒業したことに満足している



90.6%が満足

(2) 本学の学部・学科で学んだ意義があった



87.0%が意義があった

※いずれも「そう思う」「ややそう思う」の合計

Q 学修以外に在学時に取り組んだことをすべて選んでください。

- 第1位 アルバイト (84.1%)
- 第2位 学内のサークル・同好会活動 (38.0%)
- 第3位 インターンシップ^o (31.6%)
- 第4位 部活動 (16.9%)
- 第5位 文化祭 (14.9%)

【その他の選択肢】 海外留学、委員会活動、学外のサークル・同好会活動、その他学内行事、ボランティア・NPO活動、その他

Q 本学で大学生活を送ってよかったと感じたことについて教えてください。

一生付き合っていくと
思える友人に出会えた。

FYSやゼミなど、
少人数で一人ひとりにしっかりと
向き合って親身になってくれた。

色々な国籍や出身の人と
出会い、視野を広くできた。

多様性のある学科、豊富な部活動・
サークルがあり、さまざまな
タイプの人と関われたこと。

留学のサポートが
手厚かったこと。

自ら積極的に取り組めば、
ボランティア活動など
多様な学びの環境が整っている点。

トイレ、教室、食堂など
あらゆるところがきれいに
保たれていて、ありがたかった。

視野が広がったこと、学びを通じた成長、指導教員との出会い、
充実した実験設備・図書館や行き届いた清掃など

Q 本学がどうであればより魅力的な大学になると思いますか。

難易度を上げるなど、レベル別のクラス英語を充実させてほしい。

学部にもよると思うが、履修人数が多い。もっと少人数制の講義を増やしてほしい。

重要なお知らせや成績等の発表がもっと早いといいと思う。

企業と提携した講義やOBOGとのつながりを増やしてほしい。

学生との接し方について、意識改革が必要だと思う。

学部内で受けたい授業をとれるようになること。

成績照会でどの分野が何単位足りないかわかるようにすべき。

履修人数や履修制度の煩雑さ、企業等との連携強化、よりレベルの高い授業、窓口対応に対する改善要望など

※同じ内容の複数意見をまとめるなど、コメントは一部改編しています。

● いただいたご意見についての対応・改善策 ●



卒業に必要な単位をあとどのくらい取ればよいのかシステムでみられるようにしてほしい。

今後教務システムの入替えを予定しており、新システムの稼働後には自動で計算ができるようになる予定です。



窓口での事務職員の対応を統一し、向上させてほしい。

窓口対応に関する研修を充実させるなどして、対応の統一と改善をはかります。
また、窓口に来なくても疑問が解決したり、提出書類を電子化したりするなどのシステム導入を進め、利便性を向上させます。



● いただいたご意見についての対応・改善策 ●



留学先が少ないように感じたので、増やしてほしい。

2017年4月に29カ国101校だった協定校は、2018年6月に33カ国111校、2019年6月に37カ国136校に拡大しています。このような協定締結を契機とし、留学先の選択肢をさらに増やしていけるよう、積極的に働きかけを行っていきます。



勉強など授業の合間の時間を有効に使えるよう、フリースペースをもっと充実させてほしい。

みなとみらいキャンパス開設や今後のキャンパス各施設の改修に際しては、可能な限りフリースペースを配し、学修場所や学生同士が交流できるような場を増やしていく予定です。

